

取扱説明書

EHEIM
professional 4

エーハイム プロフェッショナル4 2271/2273/2275

目 次

- 1/2 — 安全にお使いいただくために
- 3 — 2271/2273/2275本製品の特徴/
製品仕様
- 4 — 2271/2273/2275内部模式図/
設置場所/セット時のご注意
- 5 — 2271/2273/2275各部の名称
- 6 — パッケージの中をご確認ください。
- 7 — エーハイムバイオメックとメックプロ
のご紹介
- 7~13 セットの手順、点検・お手入れ
(2271/2273/2275共通)
- 14 — 2271/2273/2275主要部品図
- 15 — 2271/2273/2275共通故障かな？
と思ったら
- 19 — 2271/2273/2275共通アクセサ
リー表



- このたびは、エーハイムプロフェッショナル4シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- 安全にお使いいただくために、取扱説明書の警告・注意をよくお読みください。この説明書は必ず保管してください。
- 本製品には保証書がついています。保証書は必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。
- 正しくお使いいただくために、十分に理解してからご使用ください。お読みになった後は保存し、必要なときにお読みください。
- P1・2の「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※イラストなど、実物と異なる場合がありますが、使用方法をご理解いただくうえで問題はございません。あらかじめご了承ください。

本製品は観賞魚用品です。他の目的では使用しないでください。誤った使用方法や本来の目的以外の使用、勝手な改造、修繕などによる故障、その他の影響などにつきましては一切補償いたしかねます。

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために警告・注意などをよく読み、よく理解してからご使用ください。間違った使い方は、人や生体への影響、器具類の故障、感電、火災などの重大な事故の原因となりますので、絶対に避けてください。

警告



一般的な禁止の
通告



使用者の行為を
指示する表示

本製品は、50Hz、60Hzで仕様が分かれています。
異なる周波数では使用しないでください。
(故障の恐れあり)



通電前に、本体、配管から水漏れがないか必ず確認してください。



正しい電源電圧 (AC100V) および周波数
(50/60Hz) 以外での電源使用はしないでください。



電源プラグやコンセント部を濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
(感電・故障の恐れあり)



水漏れ、破損、ポンプの故障の際は、直ちに電源
プラグをコンセントから抜いてください。



生体の出し入れ、掃除、点検、移動などのために水槽内部に手を入れる時は、必ずすべての電源を抜いてください。
(感電の恐れあり)



濡れた手で電源プラグの抜き差しをおこなわないでください。
(感電の恐れあり)



湯気など湿気の多すぎるところ、ホコリの多い場所では使用しないでください。
(感電、発火、故障の恐れあり)



電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。



引火性のもの (ガソリン、シンナーなど) の近くで使用しないでください。



電源プラグの刃やコンセントの汚れは、定期的に取り除いてください。
(発火の恐れあり)



電源コードは必ずループ状にたわませて設置してください。万一本体から漏水が発生した際、電源コードからコンセントに水が伝って漏電する事故を予防することができます。(漏電、感電の恐れあり)



電源コードに水が伝わってしまった場合は、電源プラグを抜かず、直ちに元電源のブレーカーを遮断したあと、電源プラグを抜いて、状況を確認してください。



煙が出たり、異臭がしたら、直ちに電源プラグを抜いてください。



水を吸っていない (呼び水をおこなっていない) 状態での空運転はおこなわないでください。
(故障、発火の恐れあり)



本体を落としたり、ぶつけたりして傷をつけないでください。
(感電、発火、故障の恐れあり)



使用しないときは電源プラグを必ず抜いてください。
(故障、発火の恐れあり)



注意

本製品は日本仕様として製造されています。国内でのみお使いください。



屋内専用です。屋外では使用しないでください。



本製品のご使用時における生体の病気などの補償はいたしかねます。予めご了承ください。	電源コードにつまづいたり、引っ掛けてしまわないよう取り付け、取り回しにご注意ください。 
電源コードは経年劣化により硬化してひび割れを起こすことがあります。定期的な点検をおこなってください。(感電、発火の恐れあり) 	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず、電源プラグ本体を持って抜いてください。(感電、発火の恐れあり) 
電源プラグは、コンセント口の奥まできちんと差し込んでください。コンセントの容量を超えたタコ足配線やテーブルタップ(延長コード)の使用はおこなわないでください。(発火の恐れあり) 	本体内にゴミや砂利などの異物が入った状態では使用しないでください。 
気泡を含んだ水を本体内に通さないでください。インペラーユニットなどの劣化を早める原因となります。 	本製品は水面よりも低くなる位置で、フィルター本体の底と水槽水面との高低差が最大180cm以内になる安定した場所に設置してください。 
小さなお子様に操作させたり、さわったりさせないでください。(水漏れ、故障、感電の恐れあり) 	本製品を電子機器、精密機器、楽器など、水分、塩気を嫌う製品のそばに設置しないでください。(これらの製品が故障する恐れがあります) 
本製品は磁界を発生させるため、磁気媒体をはじめとした磁気の影響を受ける機器は近づけないでください。また、ペースメーカーをはじめとする磁気の影響を受ける可能性のある医療機器や精密機器をご使用の場合は、それらの機器類の取り扱い説明書に記載された安全距離を必ず保つようにしてください。 	作動中のインペラーには触らないでください。(ケガ、故障の恐れあり) 
ホースは専用ホースを使い、折れ曲がったり、たるんだりしないように正しく取り付けてください。 	定期的各部を掃除し、汚れの付着や目詰まりなどを防いでください。本製品は水冷式モーターですので、汚れや目詰まりなどは大敵です。特にモーター内部駆動部分の掃除や取り付けスポンジ類の掃除は忘れがちですので本書に従って定期的実施してください。 
弱った魚や小さな魚などが水槽のガラス壁とパイプあるいはストレーナーの間にはさまれる場合がありますので予めご注意ください。 	稚魚・小型魚がストレーナー一部の吸い込み口より小さい場合、吸い込まれることがあります。スポンジフィルターを必ずご使用ください。 
1日に1度は正常に作動しているか確認してください。 	異常が発生した場合は直ちに使用を中止し、生体の安全の為に適切な処置をおこなってください。 
各部に使用されているOリングは、いずれも経年劣化しますので、劣化が認められたら交換してください。Oリングが劣化したまま使用し続けると、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。 	ろ材は各フィルター専用の各種バッド類と、エーハイムサブストラットプロレギュラーとエーハイムメックをお使いください。またろ材は入れ過ぎないでください。 
電源コードを傷めないでください。曲げすぎない、引っ張らない、重量をかけない、たばねない、加工しないなど。(感電、発火の可能性あり) 	

その他のご注意・お願い

- 本製品は梱包など万全を期しておりますが、ご使用になる前に必ず破損など異常がないかをチェックしてください。破損などが見つかった場合はそのままご使用せずにお買い上げ店にお申し出ください。
- 適合水槽は魚の数、環境によって異なります。海水魚、大型魚などを飼育する場合は、他フィルターの併用や匹数を調整をおこなってください。
- お手入れの際は、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。製品の品質劣化、生体への悪影響の恐れがあります。ぬるま湯に湿した布や、柔らかいブラシを使用してください。
- 他の人に譲渡される場合は、必ず、この取扱説明書と、保証書も一緒にお渡しください。
- フィルターの目詰まり、故障に備えて、エアーポンプによるエアレーションの併用、または補助フィルターを併用してください。
- 設置場所によってはクッションラバーの跡や移動用キャスターのタイヤマークが残る場合がありますのでご注意ください。
- 本製品は、改良のため予告なく仕様・デザインを変更することがあります。予めご了承ください。

2271/2273/2275 本製品の特徴／製品仕様

【呼び水レバー】



呼び水レバーを押すことにより、フィルターケース内に呼び水をおこなうことができます。

【ホースアダプター】



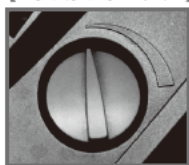
吸水、排水のホースを接続します。モーターヘッドとホースアダプターは着脱が容易で、メンテナンスの際などにとても便利です。

【EZクリップ】



ポンプヘッドの固定と取り外しを簡単におこなうことができます。

【エクステンダーノブ】



細目フィルターパッドが目詰まりして流量が低下している場合、エクステンダーノブを使用して流量を一時的に増

加させることができます。すぐに掃除をおこなう時間がない場合は、この機能によって生物濾過能力を維持しながら、フィルターの掃除のタイミングを2～3日延期することができます。

【プレフィルターコンテナ】



フィルターケース内の最上部に設置するコンテナで、簡単に取り出しメンテナンスすることができます。

(P4の内部模式図参照)

【吸水受け入れ孔】



吸水口からフィルターケース内に導かれた「汚れた飼育水」は、この孔からいったんプレフィルターコンテナの底に落ち、プレフィルター専用粗目パッドを下から上へ通過します。

【吸水サポート部】



プレフィルター専用粗目パッドを通過し、粗いゴミをこし取られた「汚れた飼育水」は、この部分からフィルターケース最下部へと導かれます。

【逆流防止弁】



フィルターケース内での過され、「きれいな飼育水」が一方通行でポンプに送られるよう、ポンプの下に逆流防止弁が付いています。



写真は 2275

機種	エーハイム プロフェッショナル4 2271		エーハイム プロフェッショナル4 2273		エーハイム プロフェッショナル4 2275	
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
エーハイムコード	2271300	2271420	2273300	2273420	2275300	2275420
流量	1000ℓ/h	1150ℓ/h	1150ℓ/h	1250ℓ/h	1150ℓ/h	1250ℓ/h
最大揚程	1.2m	1.7m	1.45m	2.0m	1.45m	2.0m
定格電圧	AC100V		AC100V		AC100V	
消費電力	10W	15W	12W	18W	12W	18W
ホース径	吸・排水ともに16/22mm		吸・排水ともに16/22mm		吸・排水ともに16/22mm	
ろ過槽	6.1ℓ		7.4ℓ		9.2ℓ	
ろ材コンテナ	1.5ℓ×2個 0.5ℓ×1個(プレフィルター)		1.5ℓ×3個 0.5ℓ×1個(プレフィルター)		1.5ℓ×4個 0.5ℓ×1個(プレフィルター)	
付属ろ材	プレフィルター用粗目パッド 細目パッド サブストラット プロ メックプロ		プレフィルター用粗目パッド 細目パッド サブストラット プロ メックプロ バイオメック		プレフィルター用粗目パッド 細目パッド サブストラット プロ メックプロ バイオメック	
本体寸法(mm)	244×238×H358(mm)		244×238×H398(mm)		244×238×H453(mm)	
対象水槽	75～90cm (約114～157ℓ)		75～90cm (約114～157ℓ)		90～150cm (約157～345ℓ)	
用途	淡水・海水両用		淡水・海水両用		淡水・海水両用	

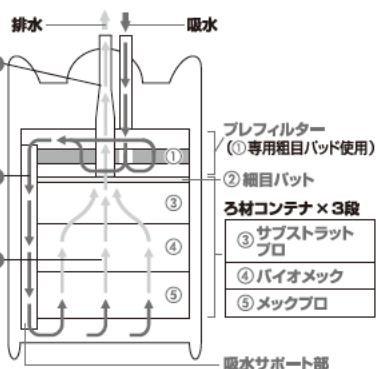
2271/2273/2275内部模式図／設置場所／セット時のご注意

エーハイムプロフェッショナル4 2271／2273／2275では、プレフィルターおよびその他のろ材をそれぞれ別のコンテナに入れてセットする仕組みになっており、フィルターケースの最上部にプレフィルターをセットする構造になっています。そのため、他のろ材には手をつけることなく、プレフィルターだけを簡単に取り出して洗浄することができます。

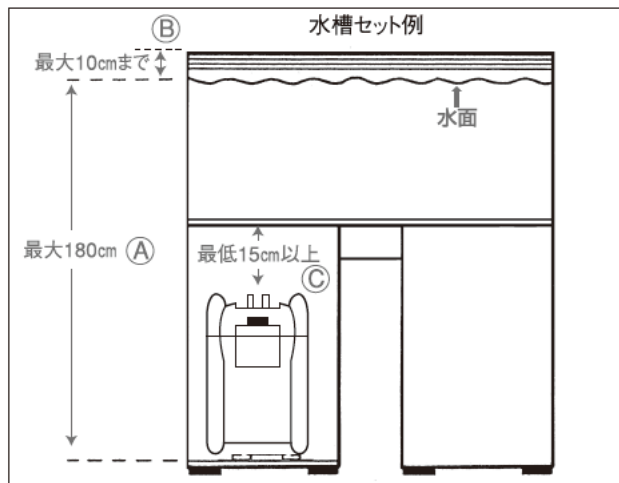
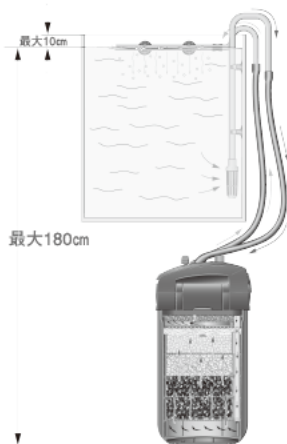
プレフィルターは、大きなゴミがろ材に直接進入することを防ぎます。プレフィルターを定期的に掃除することは、他のろ材の掃除をおこなう頻度の低減に役立ちます。

2273の例

- ① 水槽からの「汚れた飼育水」は、まずプレフィルターで粗いゴミが取り除かれ、フィルターケースの最下部へ。
- ② 「汚れた飼育水」は最下部から各種ろ材を通過しながら上に流れ、ろ材およびろ材に着生したろ菌で細かいゴミや汚れがろ過または分解され、「きれいな飼育水」が水槽へ戻る。
- ③ 「きれいな飼育水」が水槽へ戻る。



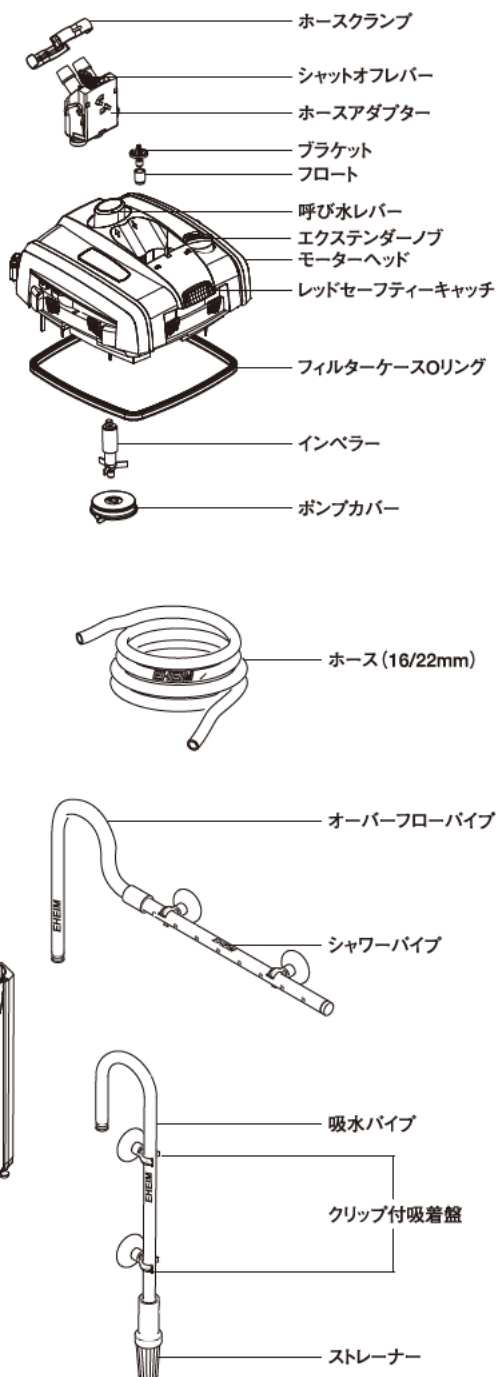
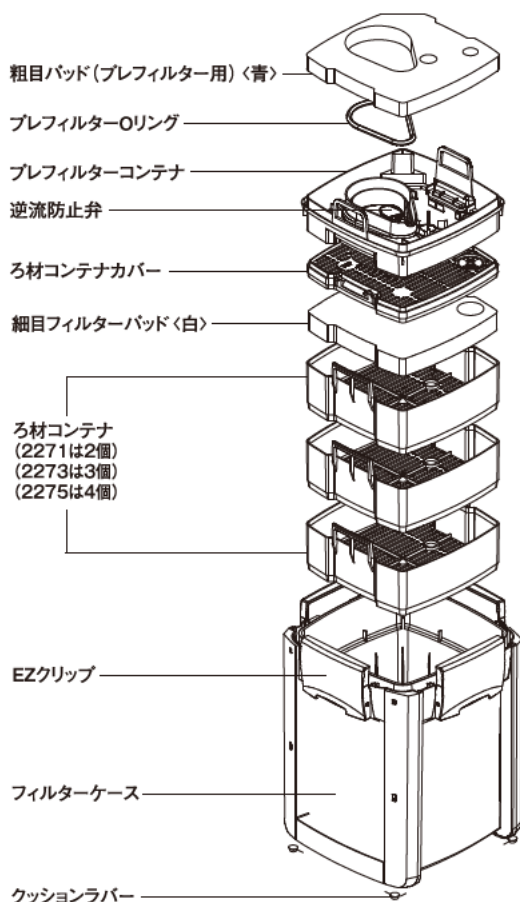
設置場所／セット時のご注意



- フィルターは、傾けて使用したり寝かせて使用せず、正しい位置で使用してください。
- 本製品を設置する場所は、モーターヘッドの上の部分が水槽より低くなるようにしてください。ただし、図のように、水面と本製品の底面の高低差が最大180cmまで(A)になるようにセットしてください。なお、呼び水レバーによる呼び水機能を確実にするため、水槽上縁から水面までの高低差は、最大で10cmまで(B)としてください。また、本製品をキャビネット内に設置する場合は、ホースアダプターの着脱やメンテナンス時の利便性を考慮して、本製品の上部に15cm以上(C)の空間を確保することをおすすめします。
- 本製品の設置場所によっては、付属のホースでは長さが足りない場合があります。その場合は、別途エーハイム純正ホース(4005843:φ16/22mm)をお求めください。ホースはたるませないように設置してください。

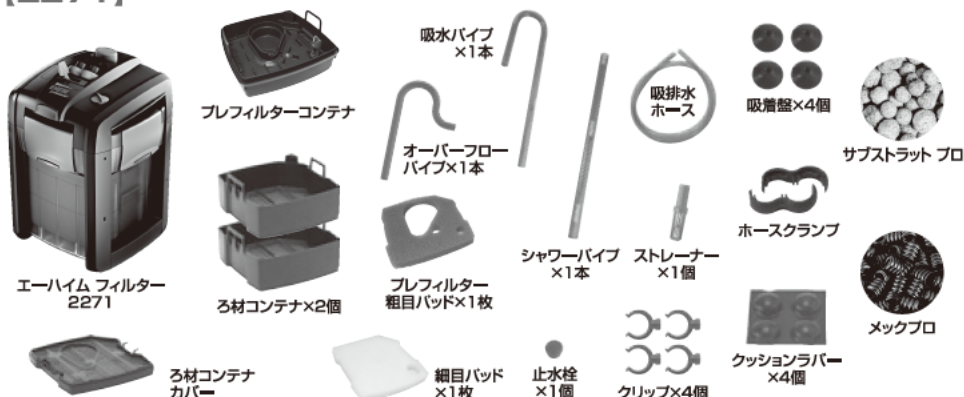
2271/2273/2275 各部の名称

モーターヘッド部の基本的な構造は同じですが、ろ材コンテナの個数、インペラー部分が機種により異なります。

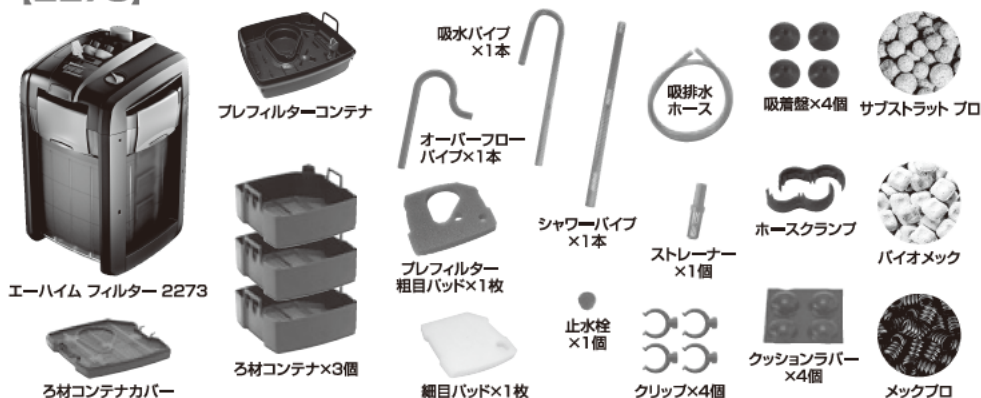


2271/2273/2275 パッケージの中をご確認ください。

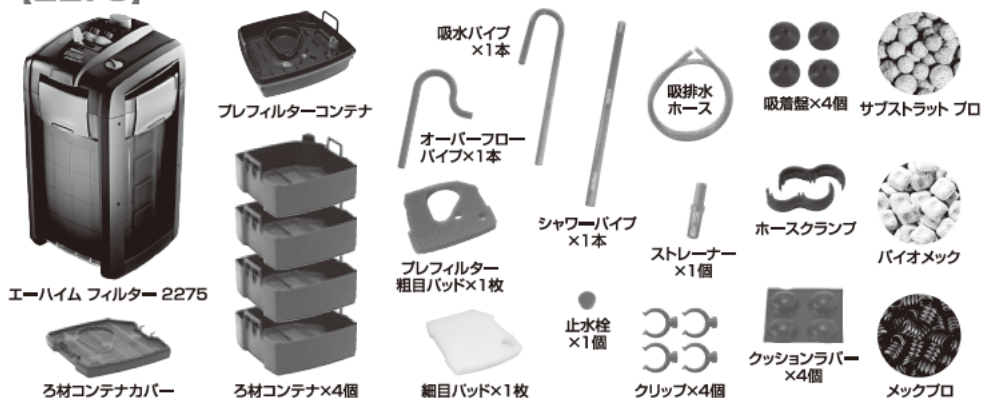
[2271]



[2273]



[2275]



エーハイム バイオメックとメックプロのご紹介

サブストラットプロ



物理ろ過／生物ろ過用ろ材
通水性に優れた多孔質構造で、バクテリアの定着、増殖に適しています。
淡水海水両用 pH中性

バイオメック

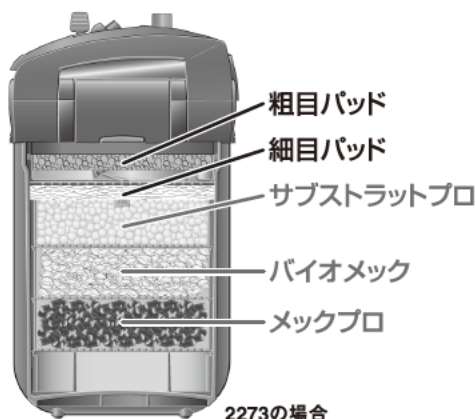


物理ろ過／生物ろ過用ろ材
中央のくぼみがゴミのこし取りに役立ちます。多孔質構造でバクテリアの定着、増殖に適しています。
淡水海水両用 pH調整済み

メックプロ



物理ろ過／生物ろ過用ろ材
軽くて取り扱いが簡単です。特殊プラスチックにほどこされたユニークな形状がゴミをこし取る(物理ろ過)作業を効率的かつ確かなものにします。独特な形状で、バクテリアの定着にも適しています。
淡水海水両用



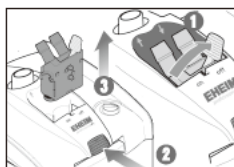
2273の場合

セットの手順、点検・お手入れ (2271/2273/2275 共通)

全ての作業は電源プラグをソケット/コンセントより抜いて(はずして)作業してください。

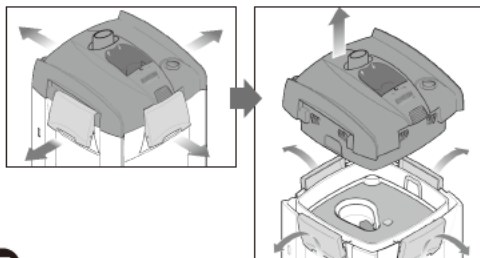
I モーターヘッドの取り外し/ろ材のセット

①ホースアダプターの取り外し

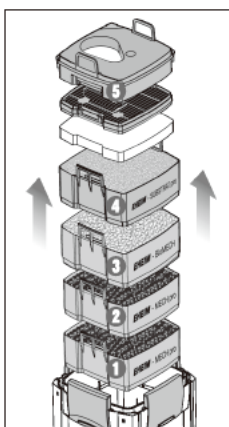


②モーターヘッドの取り外し

フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを解除し、モーターヘッドを取り外します。



③フィルターケースからろ材コンテナの取り出し



フィルターケースの中から、プレフィルターコンテナ、ろ材コンテナを全部取り出します。

ろ材コンテナには取っ手がついています。ろ材コンテナを取り出す際は、取っ手を持ってください。

なお、最上段のろ材コンテナにはろ材コンテナカバーが付いた状態となっています。

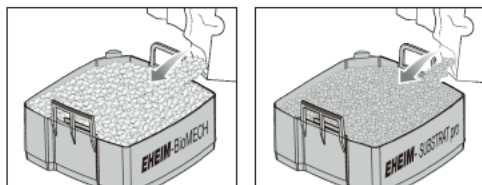
⑤プレフィルターコンテナ

④ろ材コンテナ (2271は2個、2273は3個、2275は4個)

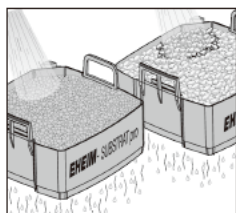
①

④ろ材の洗浄

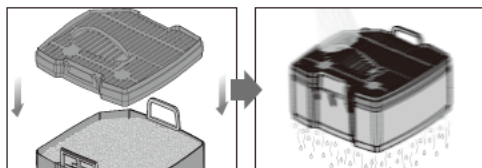
最上段に入っているろ材コンテナについているろ材コンテナカバーを外し、細目フィルターパッドを取り出します。



サブストラットプロとバイオメックは、ビニール袋に入った状態でろ材コンテナに入っていますので、ビニール袋からだしてろ材コンテナに入れ直します。



ろ材コンテナにろ材が入った状態のままで、流水で濁り水が出なくなるまで十分に洗浄します。

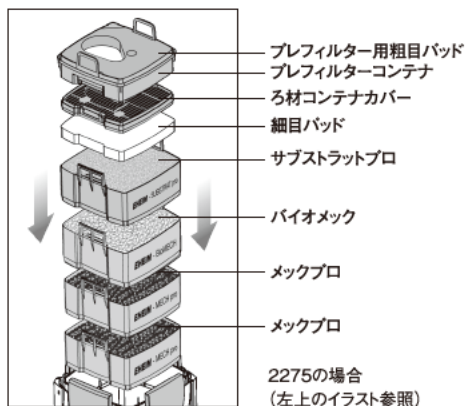


その後、ろ材の入ったろ材コンテナに、取り出しておいた細目フィルターパッドを乗せて、ろ材コンテナカバーを取り付けます。この状態で、流水の下でろ材コンテナを動かしながら再度洗浄します。

※ご注意: 細目フィルターパッドをろ材に乗せずにろ材コンテナカバーを取り付け、ろ材コンテナを動かして洗浄すると、ろ材が崩れやすくなりますので、必ず細目フィルターパッドを入れてください。

この作業を各ろ材コンテナでおこないます。

⑤ろ材コンテナ／ろ材のセット(フィルターケースに入れる)



2271の場合(ろ材コンテナは2個)

フィルターケース内の一番下に、エーハイムメックプロの入ったろ材コンテナを入れます。次に、サブストラットプロに細目フィルターパッドを乗せ、ろ材コンテナカバーを取り付けたろ材コンテナを入れます。

2273の場合(ろ材コンテナは3個)

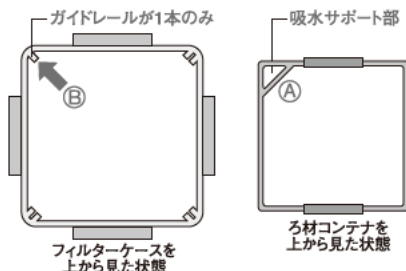
フィルターケース内の一番下にエーハイムメックプロの入ったろ材コンテナを入れます。次に、エーハイムバイオメックの入ったろ材コンテナを入れます。最後に、サブストラットプロに細目フィルターパッドを乗せ、ろ材コンテナカバーを取り付けたろ材コンテナを入れます。

2275の場合(ろ材コンテナは4個)

フィルターケース内の一番下にエーハイムメックプロの入ったろ材コンテナを入れます。次に、同じくエーハイムメックプロの入ったろ材コンテナを入れます。次に、エーハイムバイオメックの入ったろ材コンテナを入れます。最後に、サブストラットプロに細目フィルターパッドを乗せ、ろ材コンテナカバーを取り付けたろ材コンテナを入れます。

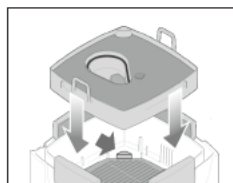
ご注意: 別売の専用活性炭パッド(2628710)をあわせて使用する場合は、最上段のろ材コンテナの細目フィルターパッドの下に重ねてください。

ろ材コンテナセット時のご注意



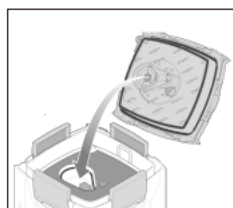
ろ材コンテナの吸水サポート部Aが、上図の矢印部Bの向きになるようにフィルターケース内へセットします。

⑥プレフィルターコンテナのセット



フィルターケースに粗目フィルターパッド(ブルー)を入れたプレフィルターコンテナを入れます。このとき、プレフィルターコンテナと吸水サポート部がしっかり接続(赤矢印部分)されているか確認してください。

⑦モーターヘッドの装着

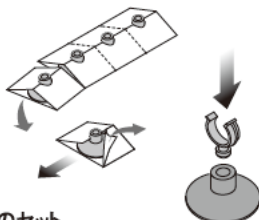


フィルターケースにモーターヘッドを装着します。この際、Oリングにねじれないか、異物が引っかかったり挟まったりしていないかなど、しっかり確認してください。その後、モーターヘッドとフィルターケースがしっかり密着していることを確認してからEZクリップで確実にロックしてください。

II 吸水部と排水部のセット

①クリップと吸着盤のセット

同梱のクリップと吸着盤(各4個)を、イラストのようにセットします。

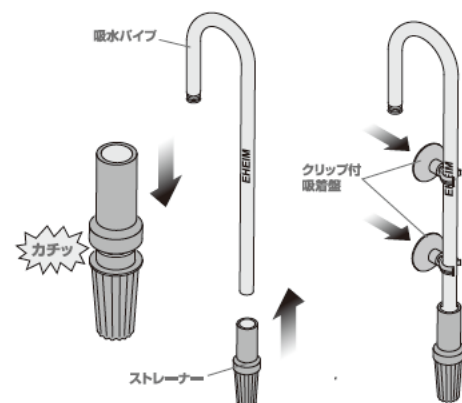


②吸水部のセット

吸水パイプとストレーナーを接続し、水槽壁面にクリップ付吸着盤で取り付けます。

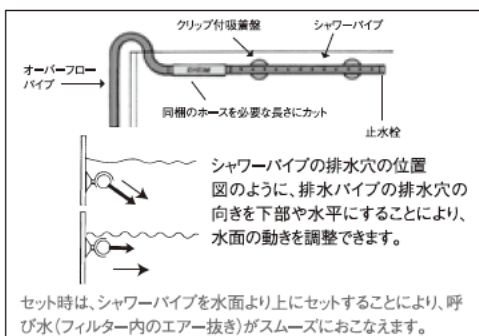
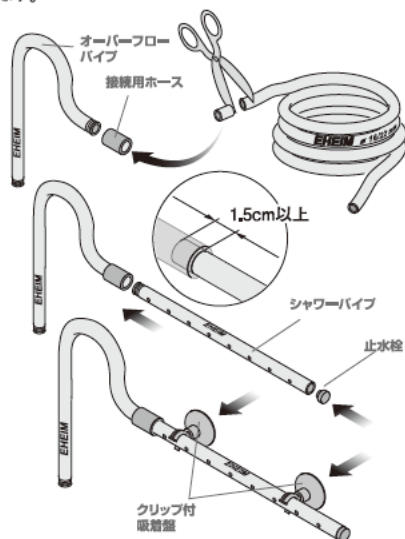
水槽フレームにより吸水パイプが傾いてしまう場合は、別売りのアーム(4004560)をご使用ください。また、水槽フレームの幅が大きすぎて吸水パイプがセットできていない場合は、下図の矢印部をカットしてホースを接続してください。カット部はケガをしないように処理してください。ホースが折れ曲がる場合には、別売りのエルボコネクター(4015100)をご使用ください。吸水パイプが長い場合、ストレーナーが底砂から10cm以上になる位置を目安にカットしてご使用ください。

※底砂を吸わないように、水槽底面(底砂上面)とストレーナー最下部は10cm以上距離を開けてください。また、水槽内にエアレーションやCO2添加をおこなう場合は、ストレーナーから吸い込まれないよう十分に距離を開けてください。



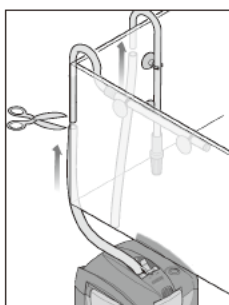
③排水部のセット

イラストのようにオーバーフローパイプとシャワーパイプを接続用ホースによって接続し、止水栓をセットしてから、クリップ付吸着盤で取り付けます。



III 吸水ホースと排水ホースの取り付け

①ホースのカット

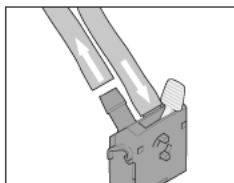


吸水と排水のホースは、折れ曲がりやたわみがないように吸水パイプ、シャワーパイプに合わせてカットします。カットする際はホースの切り口が斜めにならないよう、まっすぐに切ってください。

※折れ曲がったホースは、熱湯に浸すことで柔らかくなり、矯正できます。熱湯に浸す場合はやけどに注意してください。



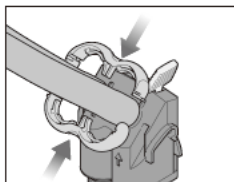
②ホースをホースアダプターに取り付け



本体正面（ホースアダプターをモーターヘッドにセットした状態）から見て、向かって右側に吸水、左側に排水、それぞれのホースを根元までしっかりと取り付けます。イラストのホースの中の矢印は水流の向きを示し、赤い矢印はホースをホースアダプターに取り

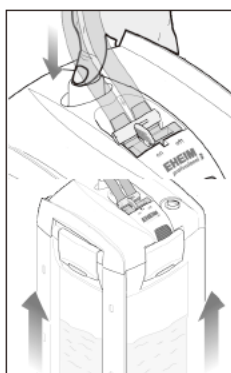
付けることを示しています。この作業は、モーターヘッドからホースアダプターを取り出した状態でおこなうことも可能です。ホースをホースアダプターに取り付ける際は、くれぐれも吸水側、排水側の取り付け間違いにご注意ください。

③ホースクランプの取り付け



ホースアダプターに取り付けたホースの付け根の部分に、ホースクランプをしっかりと確実に固定します。

V 呼び水のしかた



必ずシャットオフレバーが「ON」の位置になっていることを確認してください。

電源プラグをコンセントから外した状態で、呼び水レバーをしっかりと奥まで数回押し込むと、フィルターケース内に水槽から水が導かれます。フィルターケース内が満水になり、排水ホース内の水位が水槽の水位と同じまで上昇していることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込み、本製品を起動させます。

なお、起動させてから30分ほどの間は、正常に作動しているか、また、各部に水漏れはないかなど、必ず確認してください。

VI プレフィルターコンテナの掃除

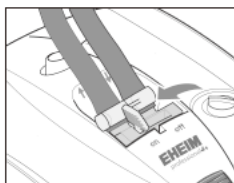
もっとも汚れやすいプレフィルター部分は、飼育条件を考慮して定期的に掃除してください。

IV ホースアダプターのセット

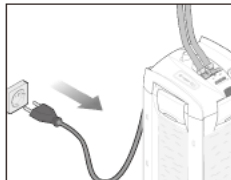


カチッ

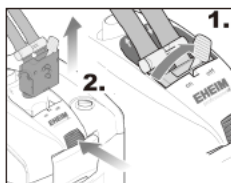
ホースアダプターをモーターヘッドに装着する際は、ゆっくりと押し込んでいき、「カチッ」と音がするまで確実にはめ込みます。このとき、シャットオフレバーは必ず「OFF」の位置にしてください。また、レッドセーフティキャッチにはさわらないでください。



ホースアダプターのシャットオフレバーを「ON」の方向にいったいまで傾けます。これでホースアダプターがモーターヘッドにロックされると同時に、吸水口と排水口が完全に開放されます。シャットオフレバーが「ON」の位置に移動しない場合は無理をせず、ホースアダプターを外し、もう一度装着し直してください。



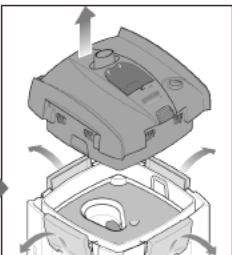
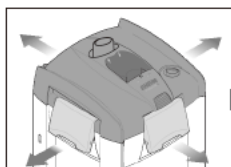
① 電源プラグをコンセントから抜きます。



② シャットオフレバーをOFF側に倒し、レッドセーフティキャッチを押しながらホースアダプターを取り出します。

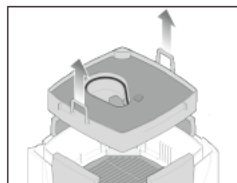
③モーターヘッドの取り外し

フィルターケースの側面4箇所にあるEZクリップを解除し、モーターヘッドを取り外します。

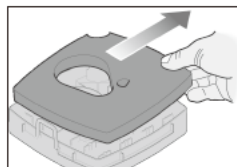


⚠ ホースアダプターやシャットオフレバーは定期的に洗浄し、Oリングやボール弁にワセリンの塗布をおこなってください。

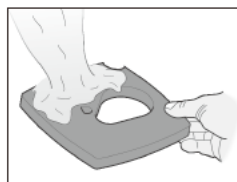
メンテナンスが不十分な場合、レバーの動きが悪くなったり、破損するおそれがあります。



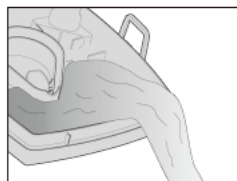
- ④ プレフィルターコンテナを取り出します。



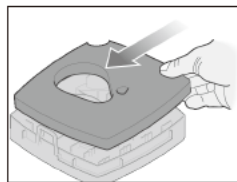
- ⑤ 粗目フィルターパッド(ブルー)を取り出します。



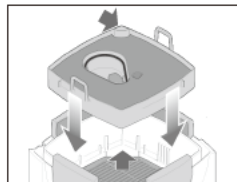
- ⑥ 粗目フィルターパッド(ブルー)を水洗いします。



- ⑦ プレフィルターコンテナの中に溜まったゴミや砂等を水で洗い出します。



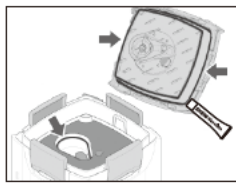
- ⑧ 水で洗った粗目フィルターパッド(ブルー)を再びプレフィルターコンテナにセットします。
※使用環境にもよりますが、粗目フィルターパッド(ブルー)は、6ヶ月に1度が交換の目安となります。



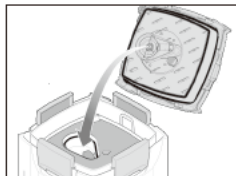
- ⑨ プレフィルターコンテナをフィルターケース内に戻します。この際、吸水サポート部(イラスト内赤色矢印)が合うように向きに注意して入れてください。



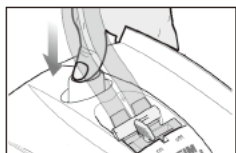
- ⑩ 逆流防止弁は必ず上に開閉する機能です。スムーズに開閉することを確認してください。



- ⑪ プレフィルターOリング、プレフィルターケースOリングに汚れなどが付着している場合は、きれいに掃除をしてエーハイムワセリンを塗布してください。

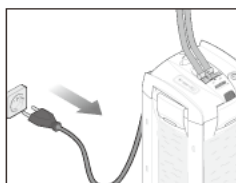


- ⑫ フィルターケースにモーターヘッドを装着します。P8の⑦モーターヘッドの装着を参照してください。

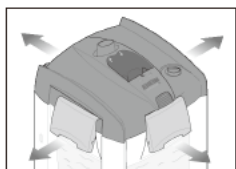


- ⑬ ホースアダプターを取り付け(ホースアダプターのセットを参照)、呼び水レバーを押して水を呼びこみます。

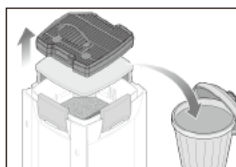
VII ろ材の洗浄



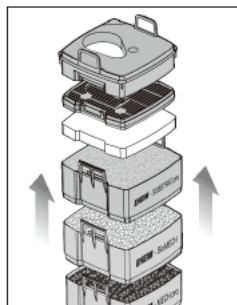
- ① 電源プラグをコンセントから抜きます。



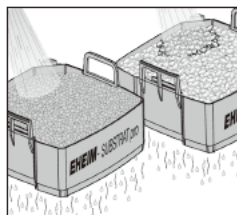
- ② シャットオフレバーをOFF側にいっぱいまで傾け、レッドセーフティキャッチを押し込んでホースアダプターを取り出します。その後、EZクリップを解除してモーターヘッドを取り外します。



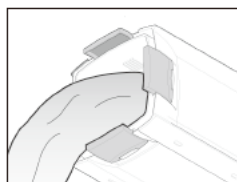
- ③ プレフィルターコンテナおよびろ材コンテナを全て取り出します。最上段のろ材コンテナ内に使用している細目フィルターパッドは、もみ洗いなどの洗浄をおこなうとへたりなどの劣化を早めることになるため、洗浄はおこなわず、定期交換する必要があります。
※使用環境にもよりますが、細目フィルターパッドは、1ヶ月に1度が交換の目安となります。



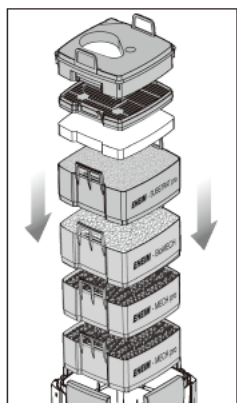
- ④ ろ材コンテナを順番に取り出します。



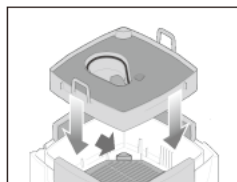
- ⑤ ろ材を飼育水で軽く洗います。水道水を使用する場合は、バクテリアが死滅する恐れがあるため、予めカルキを抜き、飼育水と温度をあわせた水を使用してください。



- ⑥ フィルターケース内の汚れ等を洗い出し、フィルターケース内を空の状態にします。



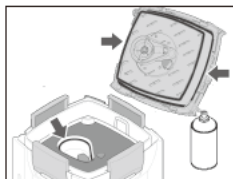
- ⑦ フィルターケース内に、洗浄が終わったろ材コンテナを取り出す前と同じ順番でセットします。



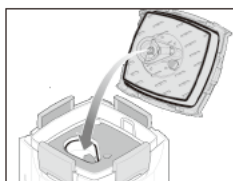
- ⑧ プレフィルターコンテナをフィルターケース内に戻します。この際、吸水サポート部（イラスト内赤色矢印）が合うように向きに注意して入れてください。



- ⑨ 逆流防止弁は必ず上に開閉する機能です。スムーズに開閉することを確認してください。



- ⑩ プレフィルターOリング、プレフィルターケースOリングやOリングを取めた溝に汚れなどが付着している場合は、きれいに掃除をしてエーハイムワセリンを塗布してください。

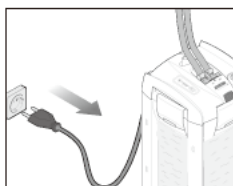


- ⑪ フィルターケースにモーターヘッドを装着します。セットの手順、点検・お手入れ～⑦モーターヘッドの装着を参照してください。

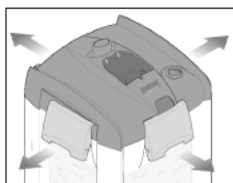


- ⑫ ホースアダプターを取り付け（ホースアダプターのセットを参照）、呼び水レバーをおして水を呼びこみます。ホースアダプターを取り付ける前に、Oリング部分にエーハイムワセリンを塗布してください。

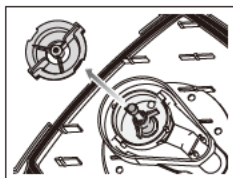
VIII インペラー部分の掃除



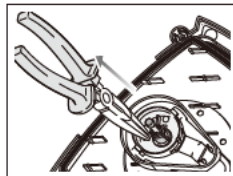
- ① 電源プラグをコンセント（100V）より抜きます。



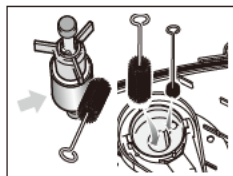
- ② シャットオフレバーをOFF側にいっぱいまで傾け、レッドセーフティキャッチを押し込んでホースアダプターを取り出します。その後、EZクリップを解除してモーターヘッドを取り外します。



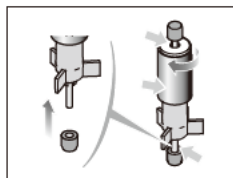
③ポンプカバーを左(反時計回り)に回して取り外します。



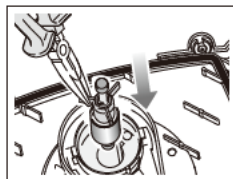
④ラジオペンチ等でインペラーを取り出します。



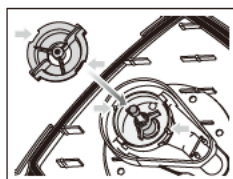
⑤インペラーやその周りの部分は、エーハイムインペラーブラシ(4009560)を使用して水アカやゴミを取り除きます。



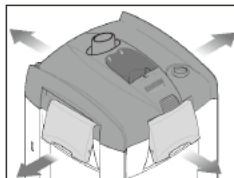
⑥インペラーを分解して掃除した場合、スピンドルおよびスピンドルラバーを元通りにセットした後、マグネット部分を左右に回してスムーズに動くことを確認してください。



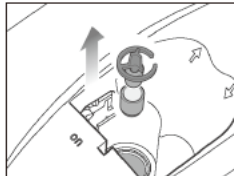
⑦掃除が終わったインペラーを、ラジオペンチ等で元の位置にセットします。



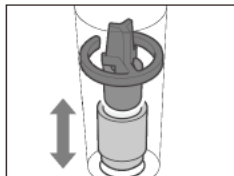
⑧ポンプカバーを右(時計回り)に回しながら取り付けます。



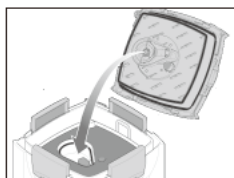
②シャットオフレバーをOFF側にいっぱいまで傾け、レッドセーフティキャッチを押し込んでホースアダプターを取り出します。その後、EZクリップを解除してモーターヘッドを取り外します。



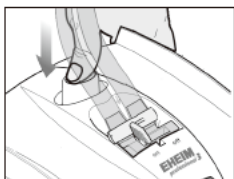
③ラジオペンチ等でブラケットおよびフロートを取り出し、良く洗います。



④洗浄が終わったブラケットおよびフロートを元の位置にセットします。必ず排水側にセットしてください。



⑤フィルターケースにモーターヘッドを装着します。P8の⑦モーターヘッドの装着を参照してください。



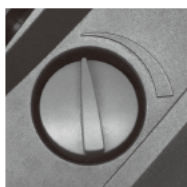
⑥ホースアダプターを取り付け(ホースアダプターのセットを参照)、呼び水レバーをおして水を呼びこみます。
ホースアダプターを取り付ける前に、Oリング部分にエーハイムワセリンを塗布してください。

■エクステンダーノブの使用

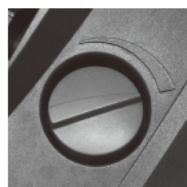
ろ材が目詰まりした場合、エクステンダーノブを使用して流量を一時的に増加させることができます。すぐに掃除をおこなう時間がない場合は、この機能によって生物濾過能力を維持し、フィルターの掃除のタイミングを2〜3日延期することができます。

※エクステンダーノブの可動域は90°です。無理に動かすと、破損したり、水漏れの原因となる恐れがありますのでご注意ください。

※エクステンダーノブは、通常時は使用しないでください。

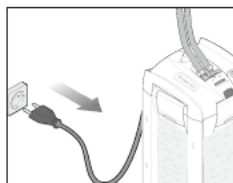


通常使用時



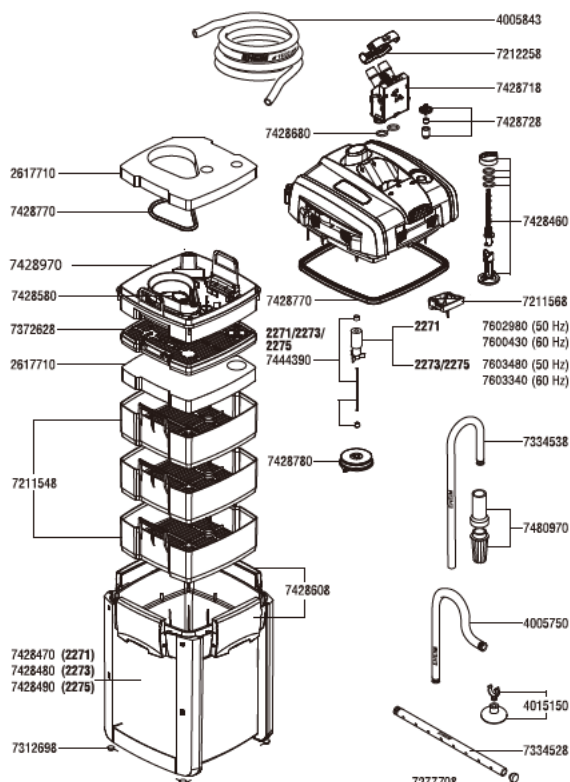
エクステンダーノブ使用時

IX フロートの掃除



①電源プラグをコンセントから抜きます。

2271/2273/2275 主要部品図



モーターヘッド部

エーハイムコード	品 名
7211568	モーターヘッド止水カバー
7212258	ホースクランプ
7428680	ホースアダプター用Oリング
7428718	ホースアダプター
7428728	フロートセット
7428460	エクステンダーセット
7428770	Oリングセット
7428780	ポンプカバー
7444390	スピンドル/ラバー
7602980	インペラー-2271 (50Hz) 用
7600430	インペラー-2271 (60Hz) 用
7603480	インペラー-2273/2275 (50Hz) 用
7603340	インペラー-2273/2275 (60Hz) 用

フィルターパッド (2271/2273/2275専用) -別売

エーハイムコード	品 名
2617710	フィルターパッドセット ・粗目パッドプレフィルター用1枚 ・細目パッド4枚入
2628710	活性炭フィルターパッド (3枚入り)

フィルターケース部

エーハイムコード	品 名
7211548	ろ材コンテナ
7372628	ろ材コンテナカバー
7312698	クッションラバー
7428580	逆流防止弁
7428608	EZクリップ
7428470	フィルターケース (サイドカバー付き) 2271用
7428480	フィルターケース (サイドカバー付き) 2273用
7428490	フィルターケース (サイドカバー付き) 2275用
7428970	プレフィルターコンテナ

吸・排水部

エーハイムコード	品 名
4005750	オーバーフローパイプ
4005843	ホース (16/22mm)
4015150	クリップ付き吸着盤
7334538	吸水パイプ
7277708	止水栓
7334528	シャワーパイプ
7480970	ストレーナー

2271/2273/2275共通 故障かな？と思ったら

●モーターヘッドをフィルターケースに装着できない(EZクリップが閉まらない)

原 因	処 置 方 法
フィルターケース内に入れるものの順番や向きが間違っている。	正しく入れ直す。
ろ材などが入り過ぎている。	ろ材を適正な量に調整する。(p7・8参照)
プレフィルターコンテナやろ材コンテナが正しくセットされていない。	正しくセットしなおす。(p7・8参照)
Oリングが正しく収まっていない。	Oリングを正しい位置にセットし直す。 また、水漏れの原因となるのでOリングの破損や傷も合わせてチェックする。

●モーターヘッドとフィルターケースの間から水が漏れる

原 因	処 置 方 法
EZクリップが正しくロックされていない。	4つあるEZクリップそれぞれを正しく確実にロックする。
OリングやOリングが噛み合う溝などが汚れていたり異物を挟んでいる。	汚れや異物を取り除き、Oリングの破損や傷も合わせてチェックする。 Oリング保護のためのエーハイム ワセリン(7345988)を塗布する。
Oリングがねじれていたり、劣化してヒビ割れが生じている。	正しい位置にセットし直す。Oリングが劣化している場合は交換する。

●モーターが動かない

原 因	処 置 方 法
電源が入っていない。	電源プラグをコンセントに差し込む。
スピンドルが折損している。	スピンドルを交換する。
インペラーがセットされていない。 あるいはインペラーが異物をかみ込んでいる。	インペラーのセット状況を確認する。異物が原因の場合は取り除く。

●異音がする

原 因	処 置 方 法
フィルター内にエアが残っている。	自動で排出されない場合は、呼び水ボタンを押したり、本体を軽く揺らしたり、リセットまたは電源を入れ直す。
ろ材が目詰まりしている、またはホースが汚れている。	ろ材およびホースの掃除をおこなう。
吸水または排水に抵抗がある。	吸水ストレーナーまたはシャワーパイプなどに目詰まりがないか確認する。
インペラーが磨耗している。	インペラーを交換する。
周波数が適合していない。	周波数に適合する機種を使用する。

●シャットオフレバーがひっかかる

原 因	処 置 方 法
シャットオフレバーの動きがぎつくなっている。	シャットオフレバーの可動部と白いワッフルにエーハイム ワセリン(7345988)を塗布し、数回動かして滑らかに動くようにする。

●呼び水ができない

原 因	処 置 方 法
プレフィルターコンテナ内の逆流防止弁が正しく取り付けられていない。	逆流防止弁を正しく取り付けれる。
ブラケットおよびフロートが正しくセットされていない。	ブラケットを正しく入れ直す。(p13参照)
水槽の水位が低すぎる。	水槽の水位を高くする。(p4参照)
クーラーなど、接続経路に水が入っている。	クーラーなどの水を抜いてから呼び水をおこなう。
プレフィルターコンテナに水が入っている。	プレフィルターコンテナに水が入っていると呼び水ができないため、プレフィルターコンテナから水を抜いて、再度呼び水をおこなう。
シャットオフレバーがOFFの状態になっている。	ホースアダプターが正しく取り付けられていることを確認し、シャットオフレバーをONの方向にいっぱいまで傾ける。

● 流量の大幅な低下

原 因	処 置 方 法
シャットオフレバーが正しい位置「ON」にセットされていない。	ホースアダプターが正しく取り付けられていることを確認し、シャットオフレバーをONの方向にいったいまで傾けます。
ホースアダプターの内部が汚れている。	ホースアダプターの内部を排水口や吸水口からパイプクリーナー（4005551）を使ってよく洗浄する。
ホースが折れたりつづれたりしている。	ホースの折れた箇所やつづれた箇所を矯正する。
ホースの内部がひどく汚れたり詰まったりしている。	ホースクリーナー（4006570）を使ってホースの内部をよく洗浄する。
ストレーナーがゴミなどで詰まっている。	ストレーナーを掃除してゴミを除去する。
ろ材やろ材コンテナが汚れている。	ろ材やコンテナを洗浄して汚れを除去する。
ろ材をネットバッグに入れてろ材コンテナに入れている。	ネットバッグを使用しない。
本製品の使用に適さないろ材を使用している。	純正品のろ材を使用する。
ろ材の配置の順番が間違っている。	正しい順番に直す。（p7・8参照）
細目フィルターパッドの入れ方を間違っている。	細目フィルターパッドを正しい位置にセットする。（p7・8参照）
フィルターパッドが汚れている。	フィルターパッドを洗浄または交換する。
インペラーが汚れている、または異物がかみこんでいる。	インペラーおよびその周辺を掃除する。
フィルターケース内に空気が溜まっている。	本体を軽くゆすするなどして空気を抜く。
ブラケットおよびフロートが汚れている。	ブラケットおよびフロートを掃除する。（p13参照）

● エアがみが治らない（フィルター内に空気が残っている／入っている）

原 因	処 置 方 法
本製品が正しい位置に設置されていない。	本製品の先端が、水槽の水位が10cm以上低い位置になるよう設置する。
ホース接続部などから空気を吸い込んでいます。	吸水パイプとホースの接続部など、ホースの接続部を全て確認し、空気の吸い込みを解消する。
ディフューザーなどからの微細な気泡を吸い込んでいます。	ディフューザーの設置位置を変えてストレーナーから気泡を吸い込まないようにする。またはディフューザーの使用をやめる。
流量が低下してフィルター内の空気が排出されない。	流量低下の原因を解消する。
ストレーナー近くでエアレーション（エアポンプ）している。	エアークがストレーナーに入らないよう遠ざける。

※上記に該当しない場合は、エーハイム製品販売店または弊社カスタマーサポートにご相談ください。

ご注意！

- 品質向上等のため、予告なく仕様を変更することがあります。
- 誤ったご使用方法に起因する損害につきましては責任を負いかねます。
- 飼育されている魚など生体の病気や死亡、水草の枯れに対する補償は致しかねます。予めご了承下さいようお願い申し上げます。

プロフェッショナル4シリーズ 適合アクセサリー表

	アイテム名
	2271 / 2273 / 2275 用
	ホース (1mにつき) (吸排水同じ)
	4005940(緑色) 4005840(黒色)
	ホース (3m巻き) (吸排水同じ)
	4005949(緑色) 4005843(黒色)
	ダブルタップ
	4005410
	タップ
	4005510
	エルボーコネクター
	4015100(緑色)
	クリップ付吸着盤
	4015150
	プラスチックパイプ
	4005800(緑色)
	オーバーフローパイプ
	4005710(緑色) 4005750(黒色)

	アイテム名
	2271 / 2273 / 2275 用
	ディフューザー
	4005651
	ホースバンド
	4005530
	パイプクリーナー
	4005551
	ホースクリーナーセット
	4005570
	インバーブラシセット
	4009560
	T-ジョイント
	4005950
	油膜取り
	3535100
	エーハイムワセリン
	7345988

交換用フィルターパッドセット

	フィルターパッドセット (プレフィルター用粗目パッド1枚、細目パッド4枚)
	2617710

日本総代理店

神田養魚株式会社

用品部 〒670-0073 兵庫県姫路市御立中3-3-20

【製品に関するお問い合わせ】

TEL 079-297-5420 FAX 079-293-6467

ホームページアドレス <http://www.kamihata.co.jp>

エーハイム製品専用ページ <http://www.eheim.jp>

比較テスト、機種別分解図、各種取扱説明書、アクセサリー別の使用方法や分解図などで覧になれます。

※この製品は、改良のため予告なく仕様・デザインを変更することがあります。予めご了承ください。